



# はじめのいっぽ

令和5年度  
1月号

令和5年12月28日  
認定こども園  
東野田ちどり保育園  
東野田ちどりキッズ・庁舎内  
江川 永里子

## 職員作



コロナの感染症法の位置づけが2類から5類となりました。  
少しずつ以前の生活が戻りつつある中で様々な感染症が流行しました。  
気候においても126年ぶりと言われる記録的な長い夏から暖かな秋を  
過ごしました。いよいよ2023年が終了いたします。  
辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長形が  
整う年だと言われています。十二支の中で唯一空想上の生き物で、権力や  
隆盛の象徴であることから、出世や権力に大きく関わる年と言われています。  
鯉のぼりの由来も、人生という流れの中で遭遇する難関を鯉のように突破して  
欲しい願いが込められております。  
子ども達が心も身体も、たくましく成長する一年となります様、祈ります。



## 職員全員が好きな言葉を決めました。

### 「初心忘るべからず」

物事を始めた頃の謙虚で真剣な気持ちを忘れてはならない。

志を立てた初めの頃の気持ちを忘れなければ

そこから成長した「今の自分」も正しく認識できる。

「それぞれの段階に応じて初心」を忘れずに努力を続けることが大切である。



『継続は力なり』 花垣

『一期一会』 山田(容) 久保 三枝 松井 北川

『笑う門には福来る』 栗林 高野 松嶋 三原

『人に優しく』 奥

『失敗は成功のもと』 新川

『笑顔を絶やさない』 相澤

『千里の道も一歩から』 村井

『五感を大切に今を生きる』 橋本

『自分の好きなように生きる』 松浦

『なるようにする』 平田

『大切なものは目に見えない』 東谷

『日進月歩』 川村

『初心忘るべからず』 皆倉

『報恩感謝』 下高原

『思い立ったが吉日』 瀬崎

『正しく 強く おおらかに』 松窪

『人事を尽くして天命を待つ』 鈴木 真鍋

『縁の下の力持ち』 桑野

『一日一笑』 千葉

『生きてるだけでまるもうけ』 細見

『人の心の痛みをわかる人間でありたい』 石黒

『家族』 金次

『明日は明日の風が吹く』 竹長

『喜んで』 西島

『十人十色』 坪山

『なんとかなる』 山田(千)

『ピンチはチャンス』 中井

『一日一生』 船津

『やらないで後悔するよりやって後悔したほうが良い』 香月

『一生懸命』 藤井

『為せば成る』 兵庫

『人生の選択に迫られたらワクワクする方を選ぶ』 岡田

